

幕別町 事業所雇用等実態調査票 (令和7年度)

【ご記入ください】

事業所名	
住 所	
電話番号	
記入者名	

記入後は、同封の返信用封筒に入れて8月22日(金)までに
返送をお願いします。

下記QRコードからも回答できます。QRコードから回答した場合は調査票の返送は不要です。



【問合先】幕別町経済部商工観光課商工労政係（山田、黒田）
電 話：0155-54-6606

【回答の留意点】

この調査票を送付した事業所（事務所）の状況について、ご記入ください。

調査の基準日は、令和7年4月1日です。

問1 業種について（一つだけに○）

- ① 卸売・小売業・飲食業 ② 金融・保険・不動産業 ③ 運輸・通信業
④ サービス業（電気、ガス、水道、介護、福祉施設、医療機関を含む）
⑤ 建設業 ⑥ 製造業 ⑦ その他（ ）

問2 従業員の有無について（一つだけに○）

- ① いる （家族従業員のみの場合、「②いない」を回答してください。）
② いない →4ページの問6にお進みください。

問3 従業員数について

(1) 令和7年4月1日現在の従業員数について、下記の表に記入してください。

(単位：人)

	正規雇用者		非正規雇用者		外国人労働者		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
15～19歳									
20～29歳									
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～64歳									
65歳以上									
計									
うち町内在住者									

■正規雇用者： 生涯雇用を前提として、期間を定めずに雇入れる従業員

■非正規雇用者 以下の4つ雇用形態の合計従業員数

○臨時：「臨時」の作業・仕事のために、期間を定めて雇入れる従業員で、正規雇用者と勤務時間が同じ従業員（季節雇用社員を除く）

○パート：所定労働時間が同種の業務に従事する正規雇用者の所定労働時間よりも短い従業員

○派遣：直接事業所と雇用契約を結んでいるのではなく、特定の業務のために人材派遣会社等から派遣されている契約従業員

○季節雇用：毎年季節ごとに雇入れる従業員（令和7年度中に予定している最大人数を記入してください。）

■外国人労働者： 雇入れている外国人の従業員

(2) 新卒者（卒業後3年以内の者、就業経験がある者を含む）の採用について

① 令和6年度に採用した新卒者の人数

採用人数 _____人

(内訳 高卒_____人/短大卒_____人/大卒_____人/専門学校卒_____人)

② 令和7年4月1日に採用した新卒者の人数

採用人数 _____人

(内訳 高卒_____人/短大卒_____人/大卒_____人/専門学校卒_____人)

(3) 正規雇用者の退職者について

① 令和6年度に退職した人数

退職者数 _____人

(内訳 自己都合_____人/会社都合_____人/定年退職_____人)

(4) 従業員の過不足について（一つだけに○）

① 過不足は無い →(7)にお進みください。

② 不足 →(5)にお進みください。

③ 過剰 →(6)にお進みください。

(5) 不足の理由（該当するもの全てに○）

① 事業規模拡大のため ② 業務量増加のため

③ 退職者の後継者が不在のため ④ その他 ()

(6) 過剰の理由（該当するもの全てに○） →(8)にお進みください。

① 事業規模縮小のため ② 業務量減少のため

③ 自動化、機械化のため ④ その他 ()

(7) 従業員の確保、定着率向上について実施したもの（該当するもの全てに○）

① 新卒者（卒業後3年末満を含む）の採用 ② 既卒者（卒業後3年以上）の採用

③ パート、アルバイト、派遣労働者の採用 ④ 中高年齢者の採用

⑤ 雇用、労働条件の見直し（見直し内容を記入：)

⑥ 外国人（技能実習生等）の採用 ⑦ 特に実施していない

⑧ その他 ()

(8) 雇用に関する課題について（該当するもの全てに○）

① 若年者の定着率 ② 従業員の高齢化

③ 人件費の高騰 ④ 時間外労働が多い

⑤ 福利厚生の充実

⑥ 雇用のミスマッチ（企業が求める人材と、求職者の条件が合わない）

⑦ 特になし

⑧ その他 ()

(9) 雇用対策として期待する施策について（該当するもの全てに○）

① 正規雇用者を雇用した場合の助成制度 ② 合同企業説明会の開催

③ インターンシップ（職場実習）の開催 ④ 求職者向け企業見学会の開催

⑤ 従業員採用等に係る事業所向けセミナー ⑥ 奨学金代理返還に対する助成

⑦ 特になし ⑧ その他 ()

問4 障がい者の雇用について

(1) 障がい者の雇用について（1つだけに○）

① 雇用している →(2)にお進みください

② 以前に雇用していた →(3)にお進みください

③ 雇用したことがない →(5)にお進みください

(2) 令和7年4月1日現在、雇用している障がい者数について下記の表に記入してください。
 (雇用していない場合は合計欄に○を記入してください) (単位：人)

	正規 雇用者		非正規 雇用者		合 計		
	男	女	男	女	男	女	計
人数							

※雇用形態については、問3(1)を参照してください。

- (3) 雇用している（していた）方の障がいの種別について（該当するもの全てに○）
- ① 視覚障がい ② 聴覚障がい ③ 身体上肢障がい ④ 身体下肢障がい
 - ⑤ 知的障がい ⑥ 精神障がい ⑦ 内部障がい（心臓・腎臓疾患等）
 - ⑧ 発達障がい ⑨ 難病のある人 ⑩ その他（ ）

- (4) 雇用した障がい者の業務内容について（該当するもの全てに○）
- ① 労務作業員 ② 技術職、専門職 ③ 営業職 ④ 総務・経理職
 - ⑤ 店員・販売員 ⑥ 経営管理スタッフ ⑦ その他（ ）

- (5) 障がい者の雇用について（一つだけに○）
- ① 積極的に雇用したい
 - ② 障がいの程度によるが、機会があれば雇用したい
 - ③ 今後も雇用する予定はない
 - ④ わからない

- (6) 障がい者を雇用する上で、どのような支援が必要だと思いますか。
 (該当するもの全てに○)
- ① 財政的支援（賃金助成、施設整備助成）
 - ② 人的支援（障がい者の雇用に関する勉強会等）
 - ③ 特になし
 - ④ その他（ ）

- (7) 雇用した際の様々な助成・支援事業について知っていますか（知っているもの全てに○）
- ① 障がい者トライアル雇用助成金 ② 特定求職者雇用開発助成金
 - ③ 雇用納付金制度に基づく助成金 ④ ジョブコーチの派遣

- (8) 障がい者の職場体験実習の受け入れについて（一つだけに○）
- ① 受入れできる ② 受入れに興味がある
 - ③ 受入れできない ④ 詳しい内容の説明をしてほしい

- (9) 障がい者への「不当な差別的扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めている障害者差別解消法を知っていますか（一つだけに○）
- ① 知っている ② 内容を少しだけ知っている
 - ③ ほとんど知らない ⑤ 初めて聞いた

問5 外国人労働者の受け入れについて

- (1) 外国人労働者を受け入れにあたって不便、不安なことはありますか
 (該当するもの全てに○)
- ① 職場でのコミュニケーション ② 仕事内容が不向き
 - ③ 取り組み姿勢 ④ 生活習慣の違い
 - ⑤ 事故やトラブルの可能性 ⑥ 買い物や住居の面倒を見る
 - ⑦ 医療、教育のサポート ⑧ 交通手段の確保
 - ⑨ 宗教上の配慮 ⑩ 特になし
 - ⑪ その他（ ）

問6 カスタマー・ハラスメントについて

- (1) 過去3年間で発生しましたか（1つだけに○）
① 発生した → (2)に進んでください
② 発生していない → 問7に進んでください
③ わからない（把握していない）→ 問7に進んでください
- (2) 発生したカスタマー・ハラスメント行為の行為者について（該当するもの全てに○）
① 顧客等（患者やその家族を含む）
② 取引先等、他社の従業員・役員
③ その他 ()
- (3) 発生したカスタマー・ハラスメント行為について（該当するもの全てに○）
① 身体的な攻撃（暴行、傷害）
② 対面や電話での精神的な攻撃（脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言）
③ SNS等での精神的な攻撃
④ 威圧的な言動
⑤ 著しく不当な要求（金品の要求、土下座の強要等）
⑥ 同じ内容を繰り返す等の過度なクレーム
⑦ 拘束的な行動（不退去、居座り、監禁）
⑧ 性的な言動
⑨ その他 ()
- (4) カスタマー・ハラスメントに対して実施したこと、または今後実施すること（該当するもの全てに○）
① 社内で基本方針・姿勢を明確化、周知
② 社外へ基本方針・姿勢を告知
③ 従業員への教育、研修を実施
④ 従業員の心理的なサポートを実施（相談窓口の設置、メンタルケアの実施等）
⑤ 録画・録音等による記録として保存
⑥ 特に実施しない
⑦ その他 ()

問7 男女がともに働くための環境について

- (1) 貴社では性別に関係なく働きやすい環境にするために実施していることはありますか
① 実施している → (2)に進んでください
② 実施していない → (3)に進んでください
- (2) 実施していることを教えてください（該当するもの全てに○）
① 時間外労働の削減（定時退社日やノー残業デーを導入する等）
② フレックスタイム制や時短勤務を導入
③ テレワーク、在宅勤務制度を導入
④ 結婚、出産、育児、リフレッシュ休暇等、年次有給休暇以外の休暇制度を導入
⑤ 男女を問わない管理職への登用
⑥ 男性職員の育児休業取得促進
⑦ その他 ()

- (3) 男女がともに働くための課題は何ですか（該当するもの全てに○）
- ① 男性が家事や育児に参加することへの偏見
 - ② ハラスメント（性的な嫌がらせ、マタニティ・ハラスメント等）の発生
 - ③ 育児休業や時短勤務制度の整備、柔軟な働き方（テレワーク、フレックスタイム制）の導入
 - ④ 女性がリーダーシップを担うことへの抵抗感
 - ⑤ 仕事量や役割分担のバランス
 - ⑥ 特になし
 - ⑦ その他（ ）

問8 奨学金について

(1) 奨学金を返済中の従業員の人数を記入してください
_____人

(2) 奨学金の借入額の平均を記入してください
_____円

(3) 月々の返済額の平均を記入してください
_____円

(4) 返済年数の平均を記入してください
_____年

(5) 事業所独自で奨学金の返済を助成する制度はありますか
① はい（差し支えなければどのような助成しているか記入してください）
② いいえ
③ 今後、導入を考えている

問9 町の雇用施策に関するご意見（自由記述）

[]

ご協力ありがとうございました。
8月22日（金）までに返送をお願いします。